

九州国立博物館 季刊情報誌 アジアージュ

# Asiarge

KYUSHU NATIONAL MUSEUM PRESS



2500年続く関係。

カイ  キュウシユウ



特集  
南の貝のものがたり

# 01

2500年 続く 関係。

# カイ キュウ シュウ

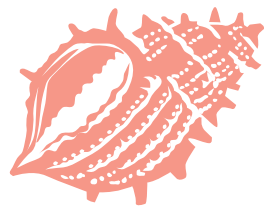
弥生時代の甕棺墓かめかんぼから出土した貝の装飾品。

その素材となったのが「オオツタノハ」「ゴホウラ」「イモガイ」などの貝でした。

名前は耳慣れないけれど、九州の歴史ととっても縁の深〜いものなのです。

九州だからこそ実現した壮大なる物語の幕が、今ここに開きます。

南の貝の  
ものがたり 7/29 Sat.~9/3 Sun.



## 好\*聴 聴いてみよう 研究員の宮地聡一郎さんに、南の貝のものがたりの魅力をききました。

### 九州の歴史の鍵、握るのカイ!?

ノッてるカイ?

「教科書には出てきませんが、南島産の貝って九州の歴史の鍵を握る、重要な存在なんです」と宮地さん。物語の始まりは、弥生時代へと遡ります。北部九州の甕棺墓からは、南島の貝で作られた腕輪が出土しています。「神秘的な光を放つ南島の貝は神聖視され、ファッションというよりむしろ有力者や司祭者たちの権力や呪力の象徴とされていたようです。これらの貝は奄美以南の島でしか手に入らなかったため、本土と南島の間で交易がなされていたことが分かります」。古墳時代には、貝製品そのものよりも、貝製腕輪を模した石製の腕輪や、装飾古墳の壁面に貝のモチーフが現れるようになりました。ここで貝製品は廃れていったかと思いきや、古代



酸素ボンベもなく海底に潜るのはさぞかし大変だったであろう ©沖縄観光コンベンションビューロー

ます。むろん、潜水道具なしで。苦勞の末に得られた1つの貝から、できる腕輪は1個のみ。かなりのレアものゆえ、さらに神聖さや価値が増したことでしょう。

### 推理小説よりも奇なり

「僕は物事を推理するのが大好きで、考古学の世界に入ったんです。今展でも様々な側面から、推理の面白さを見出しています」。例えば、弥生時代後期の甕棺墓から出土した巴形銅器。「形が漢字の『水』に似ていることからスイジガイと呼ばれる貝があり、南島一帯ではこの貝を、火災防止や魔よけの呪具として軒先に吊す古い習慣が今でも残っています。一説では巴形銅器は形から察するとスイジガイをモチーフにしたともいわれています。スイジガイ=魔よけの方程式から推測すると、この銅器も呪術的な意味を持つと考

とっさ!



左/ゴホウラ製貝輪<枕崎市教育委員会所蔵>と、右/貝製の腕輪を模して石で作られた鍬形石<京都国立博物館所蔵>

以降は匙や螺鈿の経箱など、虹色の光を放つヤコウガイを素材とした貝製品が人気を博していきました。「弥生時代から現代に至るまで、とにかく九州の歴史や文化に密接に関わっている南島の貝。本展ではその流れが一望できます」

### 貴重な貝の争奪劇

ところで地図も機械もない時代、どうやって北部九州と南島の間で交易がなされたのでしょうか。「鹿児島から島伝いに、次の島が見えては次の島へと、渡りながら目的地まで行ったのではないのでしょうか」。長時間かけて向かった島の先でも、貝はとても貴重な存在。男性の腕輪の素材となったゴホウラなどは、水深20mぐらゐ潜らないと採れないとい



南島一帯では、今も変わらず「スイジガイ」を軒先に吊す光景が ©安納昭則

えられますよね。貝をどのように腕輪の形にカットしたのか? 装飾はどう刻まれたのか? 見れば見るほど、知れば知るほどミステリアス。この夏、貝たちが問いかけてくる謎解きの推理探偵に、あなたもなってみませんか。

展示課研究員 宮地聡一郎

うどんの国・香川県出身。専門は縄文時代の考古学。趣味のサーフィンでよく波乗りする宮崎県の小倉ヶ浜は、偶然にもハマグリの名産地。つくづく貝に縁がある。

\*ここでの南島とは奄美諸島と沖縄諸島を示す。

好\*見  
見てみよう

「南の貝のものがたり」  
展示品ダイジェスト

鎌倉のトレンドは  
キラキラ系獅子柄



【重要文化財】  
鞍 獅子文 螺鈿(くらしもん らでん)  
鎌倉時代<東京国立博物館所蔵>  
螺鈿技術が用いられた鎌倉時代の逸品。貝片の  
ひとつひとつが異なる輝きを放ち、800年経った今  
も人々を魅了する。

細かい手技が光る  
遙か昔のミステリー



【重要文化財】  
オニシ製腕輪(おににしせうでわ)  
鹿児島南種子町広田遺跡出土  
弥生時代~古墳時代  
<鹿児島県歴史資料センター黎明館所蔵>  
女性人骨の左手首にはめられていた、大型巻  
貝の腕輪。道具のない時代に細かい装飾をどう  
やって削っていたのか? 未だナゾである。



貝製腕輪を模して  
作られた石のアクセ

【重要文化財】  
東之宮古墳出土品(ひがしのみやこふんしゅつどひん)  
愛知県犬山市東之宮古墳出土  
古墳時代前期<京都国立博物館所蔵>  
貴重な貝の腕輪を比較的手に入りやすい石で模して作られた、  
石製装飾品。製作技法もシャープで保存状況もきわめて良好。



イモガイ製縦型腕輪  
(いもがいせいたてがたうでわ)  
佐賀県唐津市大友遺跡出土  
弥生時代中期前半  
<佐賀県立博物館所蔵>



【重要文化財】  
巴形銅器(ともえがたどうき)  
佐賀県唐津市桜馬場遺跡出土  
弥生時代後期  
<佐賀県立博物館所蔵>



【重要文化財】  
貝符(かいふ)  
鹿児島南種子町広田遺跡出土  
弥生時代~古墳時代  
<鹿児島県歴史資料センター黎明館所蔵>



【国宝】  
飾剣 鳳凰文 梨地螺鈿  
(かざりたち ほうおうもん なしじらでん)  
平安時代<東京国立博物館所蔵>  
展示期間: 7/29~8/13



シャーマン衣裳  
近代<個人蔵>



【重要文化財】  
有鉤銅釧(ゆうこうどうくしる)  
奈良県奈良市富雄丸山古墳出土  
古墳時代前期<京都国立博物館所蔵>



経箱 花唐草文 螺鈿  
(きようばこ はなからくさもん らでん)  
朝鮮・高麗時代<文化庁所蔵>  
展示期間: 7/29~8/23



貝匙(かいさじ)  
鹿児島県奄美市小湊ワフガネク遺跡出土  
飛鳥~奈良時代<奄美市立奄美博物館所蔵>

好\*味

マドレーヌはどうして貝型なの?

貝型のお菓子マドレーヌ。フランス・ロレーヌ地方コ  
メルシーの伝統的なお菓子で、その形についての由  
来やエピソードは数多く語られています。そのひとつに、  
スペインにある由緒ある寺院「サン・ジャック・ド・コン  
ポステル」への巡礼者たちが、ホタテの殻を携帯用の

食器として持ち歩いていた風習を引き継いでいるとい  
う説があります。

日本では、菊型のマドレーヌもよく見かけますが、フ  
ランスではそれを「パン・ド・ジェーヌ」という名前と呼  
んでいます。明治や大正時代の文献ですら、貝型の  
菓子をマダレーヌと称しているはずが、どこでどう間違  
ってしまったのか? 由緒正しきマドレーヌは、貝型で  
あるべきなのです。



「南の貝のものがたり」の会期中、「オーブ  
ンカフェ」でマドレーヌを販売します。(写真  
はイメージ)

「南の貝のものがたり」に参加しよう!

好\*聴 ミュージアム講座  
**ASIAGE(アジアージュ)**  
— 特別展編 —

会期中3回にわたり、「南の貝のものがたり」に関連したテーマの対談や講座を実施します。講座に参加すれば、展示会が2倍楽しくなるはずです。

第1回:8月5日(土) 14:00~15:30  
「ヤコウガイと南島~古代と現代をむすぶ~」  
対談  
高梨修(奄美市立奄美博物館)  
池村茂(ヤコウガイアーティスト)  
橋本雄(当館企画課研究員)

第2回:8月12日(土) 14:00~15:30  
「螺鈿って何!? 虹色に輝く貝と漆の宝物」  
小松大秀(当館学芸部長)

第3回:9月2日(土) 14:00~15:30  
「海のかなたのあの世へ~豪族たちが南の貝を求めたわけ~」  
河野一隆(当館企画課文化交流展示室長)

【会場】1階 ミュージアムホール

同時開催

好\*見 発掘された日本列島2006  
— 新発見考古速報展 —

日本中で行われた遺跡の発掘調査によって発見された中で、注目すべき出土品を集めた展示会。見どころは、福岡県鶴見山古墳の武人をモチーフとした重量250kgもの石製表飾品や、佐賀県中原遺跡で初めて出土した防人に関する木簡など。併せて、出土品による国際交流のあゆみも振り返ってみよう!



武装石人<八女市教育委員会所蔵>

【期間】7月29日(土)~9月3日(日)  
【会場】3階 特別展示室

好\*見 九州の御宝  
— 新指定文化財 考古資料 —

九州各県の協力のもと、各地で発掘された出土品を集めた企画展示。佐賀県吉野ヶ里遺跡の銅鐸、熊本県中ノ城古墳の超大型円筒埴輪、宮崎県下郷遺跡の線刻絵画壺形土器、沖縄県古我地原貝塚のタカラガイ札状貝製品など、そのほとんどが県や市の指定文化財となっている貴重な出土品が集合します。

おもな展示品

- 佐賀 吉野ヶ里遺跡出土 銅鐸  
〈佐賀県教育委員会所蔵〉
- 大分 【県指定】須恵器鳥船付器台  
〈国東市教育委員会所蔵〉
- 長崎 【県指定】景華園遺跡出土 中細銅矛  
〈長崎県教育委員会所蔵〉
- 鹿児島 城ヶ尾遺跡出土 寒ノ神式壺形土器  
〈鹿児島県埋蔵文化財センター所蔵〉
- 沖縄 古我地原貝塚出土 タカラガイ札状貝製品  
〈沖縄県立埋蔵文化財センター所蔵〉

【期間】7月29日(土)~9月3日(日)  
【会場】3階 特別展示室

好\*触  
触れてみよう

あじっば通信

アジアを中心とした国々の文化や歴史を、見たり触ったりしながら体験できる展示室「あじっば」からのお知らせです。

夏休みの自由研究に。  
貝のストラップ作りに挑戦!

「南の貝のものがたり」の会期中、貝のストラップを作るワークショップを開催します。材料は用意しているので、手ぶらで参加OK! 作り方もいたって簡単。ヤコウガイのチップを粗さの異なる10種類の紙やすりで磨くだけ。次第に変化してくる色や輝きを楽しめます。磨き方や貝によってその輝きは違うので、ほかの参加者と見せあったり、会話がはずんで自然に交流できたりも。きっと夏休みの思い出になるはずです。



所要時間は1時間くらい。手が疲れたらママや妹にも手伝ってもらおう!

このほかにも、あじっばにある「ボックスキットコーナー」では、韓国の花文字や組みひもなど、アジアの様々な文化を体験できるいろんなワークショップを行っています。夏休みの自由研究として、チャレンジしてはいかがでしょうか?

~貝のストラップ作り~

【期間】7月29日(土)~9月3日(日)  
※会期中無休  
【時間】午前の部10~12時/午後の部14~16時  
※上記時間中、随時参加の受付をします。当日の状況により、時間は変更になる場合があります。  
【場所】1階 エントランスホール(あじっば前)  
【参加費】500円  
【個数】平日50セット、土日100セット

\*あじっば(1階)のボックスキットコーナーは、開館中いつでもワークショップを体験できます。

ボックスキットコーナー



花文字? 組みひも? パズル???  
気になるボックスを選んで、さあチャレンジ!



ただ今、花文字を制作中



みんなが作った作品を展示しています

困った時の神頼み

好\*見  
見てみよう

# ねがう。

五穀豊穡、はたまた恋愛成就。神様、仏様。どの時代においても頼ってしまう人の性。古代の人もお祈りをたくさんしていますね。鑑賞しつつ、その恩恵を受けたいところです。



五穀豊穡、  
多産に安産！

## 東の土偶

縄文時代・3000年前<東京国立博物館所蔵>

「縄文のヴィーナス」とも呼ばれている土偶。乳房がはっきりとしていることから、土偶のほとんどは女性を表現したものと分かります。自然環境によって生活が左右された時代、生命の誕生を祈る女神として生殖、豊穡、繁栄などを祈る祭祀で使われたと考えられます。



この夏、海難に  
遭いませぬように

## 航海安全の女神 媽祖

中国 明-清時代・17世紀  
<東京国立博物館所蔵>

媽祖は、中国では航海守護神として信仰を集める女神です。船夫達は、媽祖を航海中には船中に奉り、目的地では媽祖廟に移して、日々、嵐や遭難の回避など航海安全を祈ります。地域によっては万物の神として親しまれています。



未来の仏様に  
すがりたい

## 飾耳をつけたかね(銅鐸)

弥生後期・2~3世紀<本館所蔵>

銅鐸は、時代とともに徐々に大形化し、音具から祭具へと変化していきます。実は使用方法がまだ解明されていない「謎の青銅器」。大形化してからは、村や集団の豊作を願う祭りで祭器として飾られていたのだろうと推測されています。



出番は収穫祭。  
豊作祈願を願う鐘



台座には世界平和への願いが刻まれている

## 中国・北魏時代の金銅仏

中国 北魏・443年<本館所蔵>

衆生(しゅじょう)をことごとく救い出すためでしょう、手の指と指の間には水かきのようなものが見えます。台座には“皇太子そして父母が、弥勒の住む世界に生まれ変わりますように”という意味の文字が刻まれています。

【重要美術品】

## 経筒

平安時代・12世紀<本館所蔵>

釈迦が亡くなってから56億7千万年後に弥勒菩薩が地上に降りて衆生を救うという宗教観が仏教にはあります。しかし、その時に釈迦の教えがなければ困るため、容器に収めた経典を地中に埋めて保管しました。それが経筒。平安人が未来の人に贈ったタイムカプセルです。



未来に幸あれ。  
平安入からの贈り物

# モンゴル×日本

好\*聴  
聞いてみよう

## 海中に眠るモンゴル帝国の足跡

～鷹島海底遺跡と元寇を巡る旅～



『鷹島海底遺跡Ⅶ2003』（鷹島町教育委員会 発行）より

碇石（復元模型）全長5m  
碇石をもとに復元したイカリや部材の大きさから、沈没した船は全長約30～40mと推定される。



ボロドさん  
モンゴル出身。日本モンゴル九州文化交流センター「チンギス・ハン」スタッフ。福岡在住5年。ゴビ砂漠出身で、幼少の頃には遊牧生活を経験。湿気が苦手。

企画課研究員 橋本雄  
東京都出身。専門は中世日本と東アジアの交流史。湿気と高温を求め、南島方面に頻繁に赴く癖をもつ。

1994年、伊万里湾に浮かぶ鷹島（長崎県松浦市）の海底から、碇石が装着されたままの木製イカリが引き揚げられました。13世紀に起こった元寇（モンゴル襲来）の戦場の一つだった鷹島では、当時沈没した船や乗員の遺物が、海底発掘調査により発見されているのです。モンゴルはチンギス・ハンが建国した王朝で1271年～1368年に中国を支配しました。モンゴル文化を色濃く伝える海底遺跡の謎を、2人と一緒に巡っていきましょう。



橋本 『蒙古襲来絵詞』に描かれている「てつほう」（鉄炮）の実物がこちらです。中に硫黄が詰められています。長い時を経た今も、硫黄臭をぶんぶんとして発しています。



てつほう（鉄炮）  
大音量で爆発！  
蒙古軍の新兵器



ボロド すごい…外側の材料は何ですか？



橋本 陶器です。チンギス・ハン時代に様々な兵器が開発されていたようです。このスタイルの爆弾は、他の国には見当たらないようです。



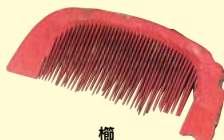
ボロド あの鈴は、モンゴルでよく使っていました。鞍や頭絡などの馬具を鈴で飾り付けるんです。鈴を付けるのは、お金持ちの象徴。今の日本で言うと、マイカーにお金をかけるようなものですね。



橋本 展示はしていませんが、海底からは馬や鹿の骨も見つかっています。もしかしたらその馬を飾った鈴かも…。ところでここにある櫛、実はシラミ取り用に使われていたんです。歯がとても細かいでしょ。ヨーロッパの沈没船からも、シラミ用の櫛が見つかっています。こういった櫛の使い方は、万国共通だったのでしょ。



鈴  
鈴鳴る馬はリッチの証拠



櫛  
女性が使っていたわけではありません



ボロド あの丸っこい陶器ですが、私が住んでいた地域で今も使われている「ドグイツァガン」という陶器と、とてもよく似ています。



橋本 本当ですか？ これは大発見です。この青磁の小壺は高麗陶磁と推定されてきたのですが、当館の陶磁器専門の研究員が「高麗陶磁にこんな色はないのだが…」と首をひねっていたんですよ！



ボロド 「ドグイ」は丸い、「ツァガン」は白の少し濃い色という意味。ドグイツァガンだとしたらくびれの上部は少し丸みを帯び、お猪口を蓋のように被せられるようになっていたはず。モンゴルでは結婚式で、ドグイツァガンに酒を入れ来賓客に振る舞います。



橋本 僕は、これまで水差しとっていました。今後、モンゴルの事例蒐集も含めて調査が必要ですね。ありがとうございました。



青磁小壺  
研究員もあっと驚く大発見！

※展示資料は松浦市教育委員会所蔵。

# Exhibition Schedule

開館1周年記念特別展

## 「海の神々—捧げられた宝物—」

2006年10月8日(日)～11月26日(日)

日本は海の国。海はたくさんの幸をもたらすと同時に、命をも奪う最も恐ろしいところ。豊漁や安全を願い、海の神さまに多数の宝物を献納してきました。この秋、それらの神々の宝物を公開します。

四天王寺住吉大社 図屏風(部分)  
(してんのうじすみよしたいしや ずびょうぶ)  
＜サントリー美術館所蔵＞



# 7～9月 Event Schedule

日付	イベント名	場所
7月27日(木)～7月29日(土)	劇団道化	1F ミュージアムホール
7月30日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート	1F エントランスホール
8月 6日(日)	第3回九博朝日寄席	1F ミュージアムホール
8月20日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート	1F エントランスホール
9月 3日(日)	きゅーはくミュージアムコンサート	1F エントランスホール
9月17日(日)	国際シンポジウム「漢字文化のひろがり」	1F ミュージアムホール
9月22日(金)～9月24日(日)	ボランティアメッセ	1F ミュージアムホール、エントランスホール 他



九博朝日寄席の演目は「真夏の怪談 真景聚ヶ淵」他。出演者は林家正雀師匠、林家彦丸、柳家さん作(左から)の皆さん

\*上記のイベントは予定であり、予告なく変更する場合があります。詳細については、決まり次第ホームページでお知らせします。

博物館リピーターに朗報  
特典いっぱい!

## 「九州国立博物館友の会&パスポートのご案内」

### 友の会

- 年会費:1万円
- 全国の国立博物館(九州・東京・京都・奈良)の平常展を何度でも観覧可能
- 全国の国立博物館の特別展(共催展含む)の観覧券を12枚贈呈(会員以外もご使用可能)
- 当館のミュージアムショップ・レストラン・カフェで割引あり
- 当館主催のイベントなどのお知らせをお届け
- ご入会記念プレゼントを贈呈

### パスポート

- 年会費:3,000円(学割2,000円)
- 全国の国立博物館(九州・東京・京都・奈良)の平常展を何度でも観覧可能
- 全国の国立博物館の特別展(共催展含む)を各1回、合計6回まで観覧可能  
※10/1からは以下の通り改定します。  
各展覧会ごとに1回、合計6回まで無料。ただし、九州以外については2回までとします。

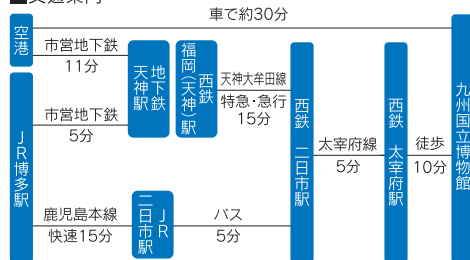
いずれも有効期限は1年間。お申し込みは1F エントランスホール受付へ!  
(学割で申し込まれる方は、生徒手帳か学生証をご提示ください)

### ■観覧料

一般:420円(210円)  
高校生・大学生:130円(70円)

- ※( )内は20名以上の団体料金
- ※特別展は別料金
- ※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に障害者手帳等をご提示ください。
- ※中学生以下、70歳以上の方は、文化交流展について無料。入館の際に年齢の分かるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。

### ■交通案内



駐車場(有料)に限りがあります。ご来館の際は公共機関をご利用ください。



好\*見  
見てみよう

## 三十路見聞録

ステキな人との出会いを、恋愛の神“月下老人”にお願いすべく台北へ。台湾のお寺(廟)は、ありとあらゆる神・仏が集合しているので、一度にいろんなお願いができてとってもおトク。せっかくだから旅の安全を“媽祖”に祈願。そういえば、次回の特別展「海の神々」に媽祖がやって来るんだとか。皆さんも秋の行楽には、ぜひ九博へ。(お)



KYUSHU NATIONAL MUSEUM

## 九州国立博物館

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2

(ご案内) ハローダイヤル 0570-00-8886

http://www.kyuhaku.jp

■開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

■休館日 月曜日(月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日)

※7/29～9/3は無休